

ミニ図書だより4月号 平成22年4月20日発行 九州高校図書室

新学期がスタートしました。出足はどうかと思っていたら、あっという間に通常の賑わい。もう生活の一部の如く。毎年新たな成長を見せてくれる皆さんに感謝。新一年生もどんどんきてください。気持ちのよい新緑の中読書しましょう。



おすすめの本…新着本コーナーの本

『よろこびの歌 Una bella Madonna』宮下奈都 実業之日本社 913.6/ミ

…クラスメイト達は新しい制服に袖を通したばかりのはずなのにもういきいき女子高校生を体現しているように見えた…「皆は春だ。私は秋や冬…」(ひかり)「十六にして余生だ。だって皆は制服が似合っている。きっと私だけ。」(早希) 自分以外の他の人は何の問題もなく見えるものだ。しかし、それぞれの心の中はあっちこっちで折れたり曲がったり。それぞれは私達なんだと気づく時が高校時代なのかも。『桐島、部活やめるんだってさ』浅井リョウ 913.6/Aも高校生のそれぞれを描きおすすめ。

『かのこちゃんとマドレーヌ夫人』万城目学 筑摩書房 913.6/M

かのこちゃんは小学一年生。マドレーヌ夫人は雌の赤トラ。外国語の話せる猫だ。二人を取り巻く日常はささやかだけれど驚き、喜び、悲しみ、そして不思議な出来事に満ちている。「鼻てふてふ」に大笑い。急いで読んでもったいない! ゆっくりじっくり味わってみたい作品。「ホルモー」「鹿男」「トヨトミ」の作者が贈る新境地。



『若いうちに読みたい太宰治』斎藤孝 筑摩書房 910.26/サ

生誕百周年で『ヴィヨンの妻』『人間失格』など映画化の続いた太宰作品。読んでみたいけど難しいかも…。そういう時はお勧めしてくれる人の意見を聞いてその気になるのがとても大切。手ごわそうな文学作品は、紹介に励まされながらちょっと難しいところを乗り越えて、いいところを味わうのがコツ。TVでもおみかけする斎藤先生は、励まし役に適役。太宰は10代20代で最も共感できる作家ではとっていますよ。

『私が一番受けたいココロの授業』比田井和孝 比田井美恵 ゴマ書房新社 159/ヒ

どうしたら人は幸せになれる? よい大学に入り、よい仕事に就いたとき? いえいえ大事なのはその後! 仕事をする中で「あのひとだったら一緒に働きたい」と思ってもらえるような人になること。どうしたらそんな人になれるのだろう。心のあり方を学び人生が変わる奇跡の60分がここにあります。

『乙女の日本史』堀江宏樹・滝乃みわこ 東京書籍 210/ホ

古代から現代まで、日本史が乙女目線ですいすいわかる本。乙女の気持ちに寄り添った解説だから、日本史の面白さに開眼すること必然!! 解説している箇所に関連した小説・漫画・映画などの紹介もあり、あなたにも歴女(男)への道が目前に…。



…他にも新着本あります。『1Q84 BOOK3』村上春樹 913.6/M、『もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら』岩崎夏海 913.6/I、『オー! ファーザー』伊坂幸太郎 913.6/I、『紫式部にケンカは売るな!』吉野敬介 159/3など。また最近映画化された作品コーナー(入口正面の新着本コーナー右側奥)には、『BOX!』、『告白』、『武士道シックスティーン』、『風が強く吹いている』、『食堂かたつむり』などを集めています。(もちろん貸出可)。

おしらせ

☆ G.W.特別貸し出し! 4/26(月)~30(金)期間中はひとり5冊。何回でも借り換え可。



ほんのちょっとほんのはなし

読書は一生の宝物。いつでも新しく学ぶことができるし、何より楽しめる!! それに「読書」という行動をするだけで人間の脳には素晴らしい効果が沢山!! 人間は言葉を使って物を考えるのだから…。また読書で使う脳は、別名笑顔の脳。集中力・判断力もつかさどっている。読書量増で、国語ならず全教科の学力UPはもはや常識…。

皆さんも朝読で読書していますがそんな中、もっと読んでみたい本はあるが、読んでも頭に入っていない本がある。長い本は無理なような気がする。読んではいけるけど本当に国語の力がついてきているのかな? などという悩みが耳に入ってきます。これは、「読解力」についての悩み。えっ? 本を読めば読解力がつくんじゃないの? つきます。が、コツがあったのです。昨年度紹介した脇明子教授のお話です。

(1) 読み方に注意。よく陥りがちな読み方。話の筋だけ楽しんでしまう。あらずしだけを追って読む読み方では、展開の意外性に惹かれて読める本は読めるが、そうでない本は退屈になる。読み飛ばしてはダメ。じっくり読み進み言葉から立ち上がる世界を頭の中に描き出し本の中の世界をまるで体験するかのように何回も読み返して深く読み込みながら味わう読み方をしてみる。あらずしが言える読書から、「どこが好きだったか」言える読書への転換。

(2) 上記のような読み方をするとツライ。しかし、本好きな人にとっても文字をたどって物語の中で想像力が働くようになるまでは、正直言って根気の要る作業。しかしこれをする事で本気でその本の世界が好きになり深く共鳴したり感動したりすることができるのです。読み始めはみんなツライ。楽しい部分にくるまでは少し我慢。

(3) 読む本は構成がしっかりして、じっくり読んでも細部まで納得できるよう辻褄が合い、情景が豊かに描写され五感体験や感情移入をたっぷり安心してできるものを最初に選んでいくとよい。

読解力がつかないのは「わかったつもり」になっているからとか「スローリーディングのすすめ」とか紹介してきましたが、ここまで丁寧に分析しているのは初めて! これを実際にマスターしてもらいたい!! そのための今年の計画は、

1. 読解力がつきやすい本のリストからその中の5冊と、自分の好きな本5冊を読み、読んだらそれぞれの本の「どこが好きだったか」を短く書く。達成できたら多読賞と同様に賞有り。リストは図書館で準備中。
2. 脇教授に直接質問し、効果が大きいだろうと薦められたのがちょっと長めの朗読。上のコツ(1)~(3)が一挙解決の朗読。何故朗読なのか? 次回へまた続く…。

